

一般質問

9月17日(木)・18日(金)の2日間にわたり、15人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名

質問者

河原井 賢一	始(クラブ21)
福島 裕一	(桐政会)
久保田 裕久	(市民の風)
北川 久人	(創志会)
山之内 肇	(公明クラブ)
渡辺 恒	(日本共産党議員団)
辻 正男	(いちえ)
工藤 英人	(創志会)
園田 基博	(創志会)
飯島 英規	(市民の風)
周東 照二	(公明クラブ)
人見 武男	(創志会)
関口 直久	(日本共産党議員団)
田島 忠一	(いちえ)
佐藤 幸雄	(創志会)

合併の取り組み

質問 河原井 始(クラブ21) 現在の共同事業をやめて、それぞれ両市で個別に行う考え方を研究する時期に、きているのでしょうか。

答弁 昨今、人口減少などといった社会環境の大きな変化も生じており、施設の統合や規模の見直しなど、将来を見据えて検討する必要がある。こうしたことから、みどり市民に利用いただいている施設に限った話ではないが、既存の施設に

関しては、将来に向けて様々なケースを想定しながらそのあり方を幅広く研究していかなければならないと考えている。

(桐生市役所)



市道の丁字路改良について

福島 賢一(桐政会)

質問 市道一―五十号と国道百二十二号との丁字路交差点について、ユーユー広場側に後退し道路を拡幅することで、交差点の改良と歩行者の安全確保が図れると思うが。

答弁 現地調査や施設管理者との協議を進めながら、事業化に向け検討したい。

質問 現在、この交差点の道路境界構造物はブロック塀で視界を妨げ危険である。視界を妨げないネット

フェンス構造にする考えは、**答弁** 境界構造物の設置については、安心して通行できる視認性に配慮した構造を検討したい。

(丁字路交差点)



山上多重塔

久保田 裕一(市民の風)

質問 山上多重塔の価値の再認識と群馬県の事業と(山上多重塔)



連携をした発信について。

答弁 国の重要文化財に指定された山上多重塔は西暦八百年に建立され、わが国では数少ない古碑のひとつであり、古代の群馬を知る貴重な資料である。新里町の文化を後世に伝えるためにも、情報発信に努めてまいりたいと考えている。

また、群馬県が実施している東国文化周知事業は、今までにサミットやシンポジウムが開催されており、このような機会を利用して、県と連携をしながら発信をしていきたいと考えている。

観光戦略について

北川 久人(創志会)

質問 篠原涼子さんによる観光ポスターが全国的な(観光イメージアップポスター)



話題となっているが、このことによる広告宣伝効果はどのくらいか。

答弁 『放送広告料金表』による試算では、約七千五百万円となるが、把握できていない部分も含めるとその効果は莫大であったと理解している。

質問 更なる戦略として、大手広告代理店の経験者等『広告業界の専門家』を当市に招きPR戦略室を設置してはどうか。

答弁 効果があると判断されれば必要に応じて今後協議を行っていききたい。

健康ポイント制度の導入について

山之内 肇(公明クラブ)

質問 健やかで幸せと書く「健康」を目指したまちづくりであるスマートウエルネスシティを推進するために、健康づくりの取り組みに特典を与える健康ポイント制度を導入すべきと考えるが市の考えは。

答弁 スマートウエルネスシティの目指す方向と桐生市健康増進計画は、「健康寿命の延伸」を実現するという目標において一致しており、高齢者施策の一環

として健康ポイント制度は有効な手段と考えられる。今後、既に実施している介護ポイント制度との連携も視野に入れて研究したい。

(体操を楽しむ参加者)



自治体オープンデータの活用

工藤 英人(創志会)

質問 すでにPDF形式でWeb公開している情報

(桐生市のホームページ)



を、機械判読に適したデータ形式として提供するなど、より多くのデータを有効活用し情報公開することについて、市はどのように進めていこうと考えているのか。

答弁 ファイル形式の中には専門的な知識や技術が必要になるものもあることから、まずはCSV形式での提供を基本として検討していきたい。また、各所属で所管しているデータのオープンデータ化については、今後全庁的に共通理解を図り、研究を進めていきたいと考えている。

国民健康保険税の負担軽減

渡辺 恒(日本共産党議員団)

質問 負担感の高い国保税について、国保会計の黒字と国保基金を活用した負担軽減を行うことの見解は。

答弁 平成二十六年、二十七年と二か年連続して税率の引き下げを行ったが、その財源には国保基金と年度毎の決算により生じた黒字分を最大限活用し充当している。今後の更なる負担軽減については、被保険者の所得や医療費の動向各年度の決算状況等を踏ま

えるとともに、平成三十年からの事業運営の都道府県化後も見据えるなど、様々な要因を慎重に見極めながら検討したい。

(医療保険課)



まち・ひと・しごと総合戦略

園田 基博(創志会)

質問 国が定める基本目標と桐生市の見解について。

答弁 国は、地方における安定した雇用の創出や地方への新しい人の流れをつくる、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、好循環を支えるまちの活性化といった四つの政策の基本目標を提示している。その基本目標等を踏まえる中、

当市では、現時点における人口動向や将来人口推計を始めたデータ等の分析

結果などを基に、寄せられる意見や提言を踏まえ、目指すべき方向をしっかりと導き出し、基本目標の設定につなげていきたい。

(桐生市役所)



空家対策特別措置法

辻 正男(いちご)

質問 特措法施行後の桐生市の対応は。

答弁 特措法が施行されたことにより、空家の所有者や相続人を特定するための不動産登記情報をはじめ、固定資産税情報や戸籍などの情報を取得することが法的に裏付けられたので、調査事務がスムーズに行えるようになった。また、今年度から空家に対する窓口を一本化し、空家対策に特化した人員を配置したことに

より、相談にこられた市民にワンストップで対応している。今後、関係条例の制定について研究してまいりたい。

(空家対策室)



公立高校の再編問題

飯島 英規(市民の風)

質問 県教委が作成した「高校教育改革推進計画」には、「適性規模の維持が見込まれない学校については、統合を推進する。」とある。そこで商業高校と工業高校を統合した最先端の『産業高校』をつくるため、将来に向け今から県教委と交渉を始めるべきではないか。

答弁 本件については、今後も産業界等から広く意見を聞くとともに街づくりの観点や子供たちの将来の

ため実情をよく調査・検証する必要がある。重要な問題と捉えているので今後は、桐生市として検討した意見を県に要望していきたい。

(桐生市立商業高校)



桐生みどり大田三市合併について

周東 照二（公明クラブ）

質問 現在、「桐生・みどり新市建設研究会」で両市の合併について研究が進められているが、太田市を含めた三市での合併が実現すれば、人口四十万人規模の都市が実現し、桐生市民の中からもこれに賛同する声を聞いているが、亀山市長のお考えを伺いたい。

答弁 桐生市民の意見を何よりも大切にしているため、今後も市民の声をしっかりと把握したいと考えている。

いる。なお、合併については、飛び地を一刻も早く解決するため、みどり市との合併を最優先に取り組んでいきたい。

（桐生市役所）



広沢水源地の跡地利用

田島 忠一（いちえ）

質問 広沢水源地の今後の利活用について。

（広沢水源跡地）



答弁 広沢水源跡地については、桐生市にとっても大変貴重な土地である。単に売却するのではなく、人口減少対策、あるいは地域の活性化に寄与できるような、また、水道事業にとっても給水収益の増加につながるような活用ができるよう処分方法を検討しているところである。処分にあたっては、優秀な企画、提案を公募するプロポーザル方式等による実施も視野に入れながら、なるべく早い時期に事業を選定して処分したいと考えている。

子育て就労者市内居住奨励事業

人見 武男（創志会）

質問 現状と周知方法を含めた今後の事業展開の予定については。

答弁 これまで十二件の申請があり、全転入者三十八名のうち、交付対象となった中学生以下は、十八名で百六十万円を交付している。今後も、市長トップセールスを始め、あらゆる機会や情報発信ツールを活用して周知徹底を図りたい。また、今後は県とタイアップし、より一層の利用と事業展開を推進するとともに、県内外への情報発信にも努め、「元氣・安心・未来」の基本政策に沿って全庁体制で推進したい。

（子育て世帯）



多面的機能支払交付金

佐藤 幸雄（創志会）

質問 取り組みの状況と問い合わせの有無について。

（パンフレット）



答弁 多面的機能支払交付金事業は、平成二十六年から制度化され、新里・黒保根地区において周知を図っているところである。現在、新里地区の水利組合の一体が事業に取り組み、県から事業説明を受けている。市に対する問い合わせについては、現在新里地区の一体のみであるが、農業、農村の多面的機能が将来に渡り発揮されるために、本事業は有効であると考えるので、今後多くの組織が設立できるように周知を図り支援をしていきたい。

渡良瀬団地の住戸改善

関口 直久（日本共産党議員団）

質問 雨漏りや排水管の臭気対策については。

答弁 雨漏りについてはベランダ防水改修工事を昨年度から実施しており、既に十九棟が工事を完了し、今年度は残り七棟の工事を実施する予定となっている。排水管からの臭気については主管の清掃作業を実施した結果、つまりによる臭気は解消されていると考えている。住戸内排水管の清掃については、基本的に入居者負担により修繕をお願いしているが個々のケースが考えられるので県住宅供給公社と協議の上戸別に調査し対応について判断したい。

（渡良瀬団地）



お知らせ

◆次回定例会の開催予定は…
11月30日(月)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。